

『うつくしま、まちづくり推進レポート』

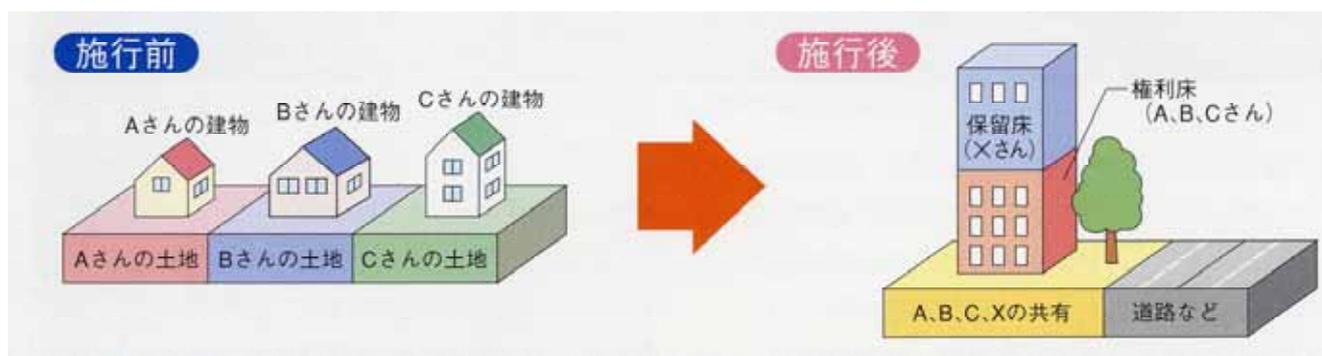
Vol. 5
平成15年12月5日 発行

1 まちづくり推進グループの所管事業の紹介

まちづくり推進グループが所管する事業の一つに、まちづくりに対するハード面からの支援となる市街地再開発事業があります。

この事業は、地区内の建築物を除却し、道路などの公共施設を整備するとともに、新しい高層の建築物を建築し、従前の権利をその建築物の床・敷地に関する権利に変換すること(権利変換方式)により、土地の高度利用と都市機能の更新を図るものです。

市街地再開発事業のしくみ



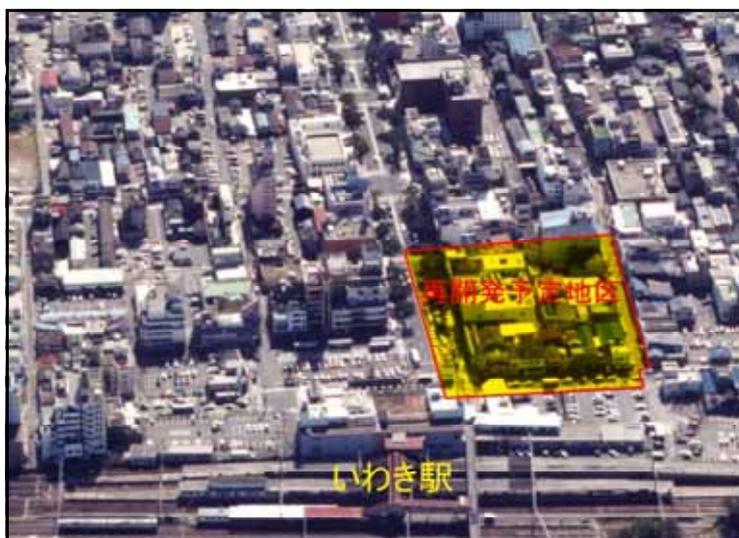
平成15年3月31日現在、全国で766地区、1,175haにおいて実施され、うち、572地区、838haの事業が完了しており市街地の整備に寄与しています。
福島県内での今までの実績は以下の表のとおりです。

都市名	地区名	施行者	面積	最終決定年月日	県の所管領域
福島市	福島駅前第1地区	組合	1.2	S47.3.31	建築
	福島市栄町地区	組合	0.5	S53.7.14	建築
	福島駅前B - 北地区	組合	0.5	H4.4.2	建築
	福島駅前B - 南地区	個人	0.2	S59.12.28	建築
郡山市	郡山駅西口地区	公共	3.0	H10.2.27	都市
	郡山中町第1地区	組合	1.0	H9.2.21	建築
いわき市	平一町目地区	個人	0.6	非都市計画事業	建築
	いわき駅前地区	組合	1.2	H14.4.12	都市

郡山駅西口市街地再開発事業



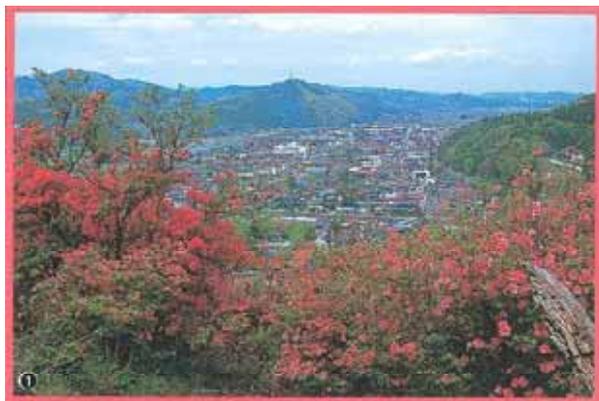
いわき駅前予定地区(H15.11.25認可)



2 県内の「まちづくり」情報 ～ 埴町からの報告 ～

今回は、「埴町駅周辺の整備」について報告いたします。

茨城県水戸市と福島県郡山市を結ぶJR水郡線の中に位置するのが、JR磐城埴駅のある福島県埴町です。町の東部は阿武隈山系、西部は八溝山系に連なり、町の中心部を鮎釣りの名所として知られた久慈川が縦断しています。



埴町（風呂山公園から）



位置図

1) HOPE計画の策定

埴町は、林野率が80%を超える森林資源の豊富なまちで「自然と共生する家と町の創造」を基本テーマとし、平成元年度にHOPE計画（現住宅マスタープラン）を策定しました。これに基づき、自然資源を活用したまちづくりを推進するため、地場産木材の活用や生け垣に対する緑化補助などを行っています。また、公共施設の建設にあたっては木のイメージを取り入れ、住民一人一人に木の良さを理解してもらい、HOPE計画が形あるものになるよう推進しています。



町営住宅金砂団地



道の駅「はなわ」

2) 埴町コミュニティプラザの整備

平成2年度に、都市基盤整備のための重点施策として、図書館を中心とした駅前周辺の整備を行うこととし、駅前地区を町のシンボルゾーンとして位置づけました。

そこで、この駅前周辺地区を「木の町はなわ」のイメージづくりと町の主要産業である林業の振興のため、「森林」をモチーフに町立図書館が平成4年に、コミュニティ施設と駅舎が平成5年に建設されました。この建物は、周囲の山々に囲まれた森や林の木陰のイメージ

に造られ、内部の空間は大きな枝の絡み合うイメージ、あるいは傘の下で休息するといった構造で造られ、これまで、東北建築賞・福島県建築文化賞正賞・通産省（当時）のグッドデザイン賞・ヨーロッパの小さな駅部門「ブルネル賞」など、数々の賞を受賞しています。



塙町コミュニティプラザ（外観）



同内部

樹々の幹や枝を表すようなデザイン

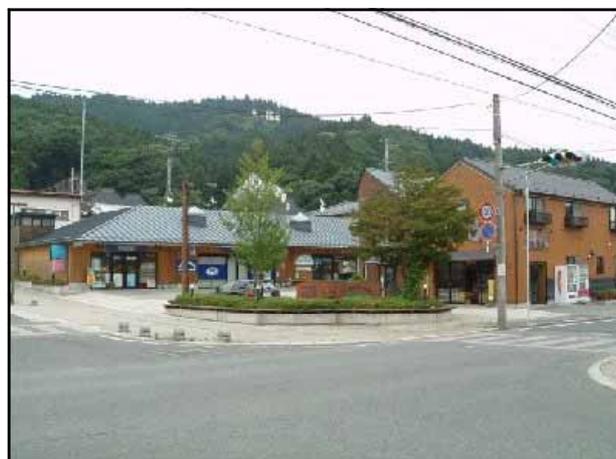
3) パティオ（中庭）型商業施設の整備

平成3年12月には塙町駅前商店街活性化研究会が発足し、駅前地区を中心とした商店街を再形成し、いかに商業の活性化につなげていくか研究が始まりました。平成6年度に「塙町中心商店街活性化策定事業（中小商業活性化事業）」により近代化計画策定の中の重点事業としてパティオ事業の計画が出ました。

駅前のシンボルロード整備に合わせて、塙町商店街全体のリーディングプロジェクトとしてパティオ型共同店舗開発事業を位置付け、平成9年度には、福島県内初めてのパティオ型商業施設としてオープンしました。名前は、「Forest Five」はなわ駅前商業協同組合です。まちづくりの一環として、駅前活性化の起爆剤になったようです。



駅前シンボルロード



パティオ型商業施設

3 トピックス

郡山市が「緑の都市賞」の最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。

緑豊かなまちづくりに功績のあった団体や企業、自治体を顕彰する「第23回緑の都市賞」((財)都市緑化基金、読売新聞社主催)において、内閣総理大臣賞を受賞しました。これは、安積開拓の原風景を再現した「郡山駅西口駅前広場」、工場跡地を利用し防災機能を備えた「21世紀記念公園 麓山公園」、防災効果を高めた親水空間とした「せせらぎの小径」等が評価されたものです。 - 読売新聞より抜粋 -

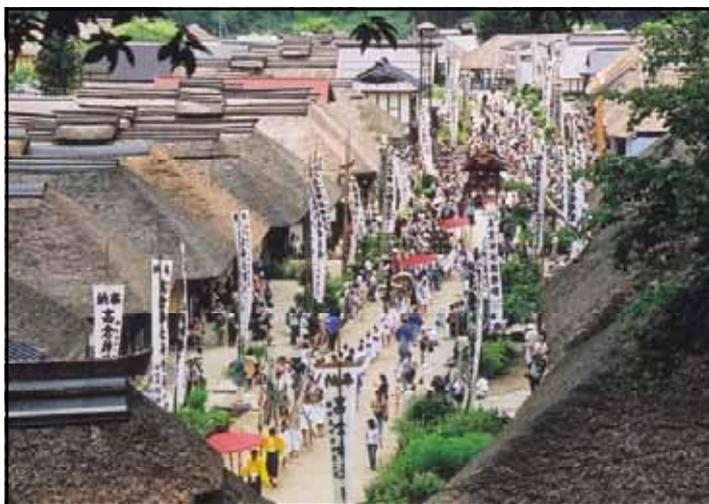
4 ちょっと一息

重要伝統的建造物保存地区をご存知でしょうか。

これは、昭和50年に城下町、宿場町、門前町などの全国各地に残る歴史的集落や町並みを保存する為に制度化されたもので、全国で61地区選定されております。

東北地方では、下記の4地区が選定されておりますので、近くに行かれた時は、是非ご訪問ください。

青森県弘前市仲町地区(武家町)
秋田県角館町角館地区(武家町)
岩手県金ヶ崎町城内諏訪小路地区(武家町)
福島県下郷町大内宿地区(宿場町)(右写真)



大内宿地区半夏祭の日

5 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート Vol.5」はいかがでしたでしょうか。今後とも内容等を充実して参りますので、ご意見、ご提案、ご要望、ご質問などお寄せ下さい。

メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、
1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)よろしければ、5. 性別、6. 年齢を記入の上、まちづくり推進グループのメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。(E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp)
登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

【発行元】 福島県 土木部 都市領域 まちづくり推進グループ

電話: 024-521-7510

FAX: 024-521-7956

E-mail: machizukuri@pref.fukushima.jp

URL: <http://www.pref.fukushima.jp/toshi>

[/machizukuri.html](http://www.pref.fukushima.jp/toshi/machizukuri.html)